



issa

國際社會保障協會

年次報告

2014/15 年



データで見る ISSA

国際社会保障協会は、社会保障機関や政府機関を繋ぐ世界有数の国際機関です。ISSAは、専門的なガイドライン、専門家としての知識やサービス、サポートの提供等の優れた社会保障運営の推進を通じて、世界中のISSA加盟機関がダイナミックな社会保障制度や政策を発展させることができるようサポートしています。ISSAは、国際労働機関の支援を受け1927年に設立されました。

ISSAイベント
への参加者数

800人以上



ダウンロードされた
「国際社会保障レビュー」
の記事

32,366本



ISSAデータベースに収録
された85カ国の社会保障の
グッドプラクティス

372件



1927年の
ISSA設立以来

88周年



ISSA優れた社会保障運営支援センター

ISSA優れた社会保障運営
支援センターとISSAガイド
ラインの立ち上げ

専門的助言・サポート
の立ち上げ

専門家名簿の創設

第1回ISSAアカ
デミーワークシ
ップを開催

2013

11月

2014

2月

2014

3月

2014

10月

社会保障運営の
ためのガイドラ
インの策定

8分野



157カ国

327の加盟機関
(2015年6月現在)

ISSAウェブ・ポータル
への訪問者数

144,693人

ページビュー数

1,155,377回

第1期ISSAアカデミー
ディプロマ研修を開設

認証プログラムの
立ち上げ

新分野のISSAガイド
ラインの採択

2015

6月

2016

前半

2016

11月

はじめに

一年を振り返る

社会保障機関の変化の速さは、社会や経済の変化が社会保障運営に対して次々と新しい要求を突きつけることに伴い、加速し続けています。ISSAは、そうした変化に対し、ダイナミックな革新的取組みを実施するほか、優れた社会保障運営の促進を中心的な任務として対応を行ってきました。

世界の多くの社会保障制度が人口動態の進展や財政上の制約に伴う持続可能性の課題に直面し続けているにもかかわらず、社会保障の適用拡大は、新たな政治的関与と、多くの地域の国際開発計画における社会的保護の重点化によって一層強化されています。世界的に、社会保障は、単なる費用としてではなく必要不可欠な投資であり、経済的にも社会的公正のうえでも必要不可欠な手段として、広く認められるようになってきました。

社会保障機関は、それぞれが多様かつ複雑な環境のもとにあるにもかかわらず、社会保障運営業績を革新し強化していくという決意で結束しています。そうしたなか、ISSAは、運営の中核分野に関する国際的専門基準を規定したISSAガイドラインの先駆けとなるシリーズを2013年に発刊したのに続き、加盟機関への実務的サポートを強化するための重要な取組みを行ってきました。ISSA優れた社会保障運営支援センターによる知識や学習機会の提供及びサービスのやりとりは、これらの取組みの中心となりました。

ISSAの専門的な助言とサポートが2014年1月に開始され、専門家による助言とサポートへの効率的なアクセスを加盟機関に提供しています。また、ISSAアカデミーが2014年10月に開設され、ISSAガイドラインを使ったプロジェクトの進め方を中心とした実用的研修を多様な日程で提供しています。2015年には、国際的に名高い研修機関と提携した修了証書授与を伴う研修課程を立ち上げ、ISSAガイドラインに関する専門的研修を社会保障機関の専門職員のために提供する運びとなりました。また、

加盟機関におけるISSAの国際専門基準の実施に対して認証を行なう新制度が、2015年後半に試験実施されたうえ、2016年中に本格実施に移される予定です。

昨年、ISSAでは様々な新規事業が素晴らしいスタートを切りました。アフリカ(カサブランカ、2014年12月)では、世界の地域社会保障フォーラムの口火をきって、同フォーラムが開催され、記録的な人数の参加者が集まり、同地域における社会的保護のきわめて明るい展望を反映したものになりました。また、ISSA国際研究会議(エルサレム、2014年11月)では、専門家および政策決定者のために、社会保障が直面している最も重要な現在の問題を討議し分析する機会を提供しました。

143か国から約4,000人ももの参加者が集まった国際労働機関(ILO)とドイツ労災保険組合(DGUV)の共催で開かれた世界労働安全衛生会議(フランクフルト、2014年8月)は、先例のない成功を収め、世界的な予防ネットワークの強さと、重大労働災害事故ゼロ、死亡労働災害事故ゼロという素晴らしい展望を確認するものとなりました。

この年次報告は、過去12カ月間のISSAのダイナミックな事業活動から特に重要なものを取り上げて紹介します。将来にわたって、優れた社会保障運営のサポートを行なうためのイノベーションと積極的な取り組みが、加盟機関へのより良いサービスを追求するISSAの構想と事業活動を特徴づける要因であり続けるでしょう。

この1年間の優れた事業に貢献し、ISSAの強みである深い係わりと貢献を行なった全ての加盟機関、技術委員会、提携団体およびスタッフに対して、ここに感謝の意を表します。



会長
エロル・フランク・ストゥーブ

A handwritten signature in black ink, appearing to read "Errol Frank Stuebe".



事務総長
ハンス・ホルスト・コンコルスキー

A handwritten signature in black ink, appearing to read "Hans Holst Concol斯基".



イベント

画像で見る一年

2014/15年に実施されたISSA事業の視覚的印象



XX. Weltkongress für
Sicherheit und Gesundheit
bei der Arbeit 2014

Globales Forum Prävention

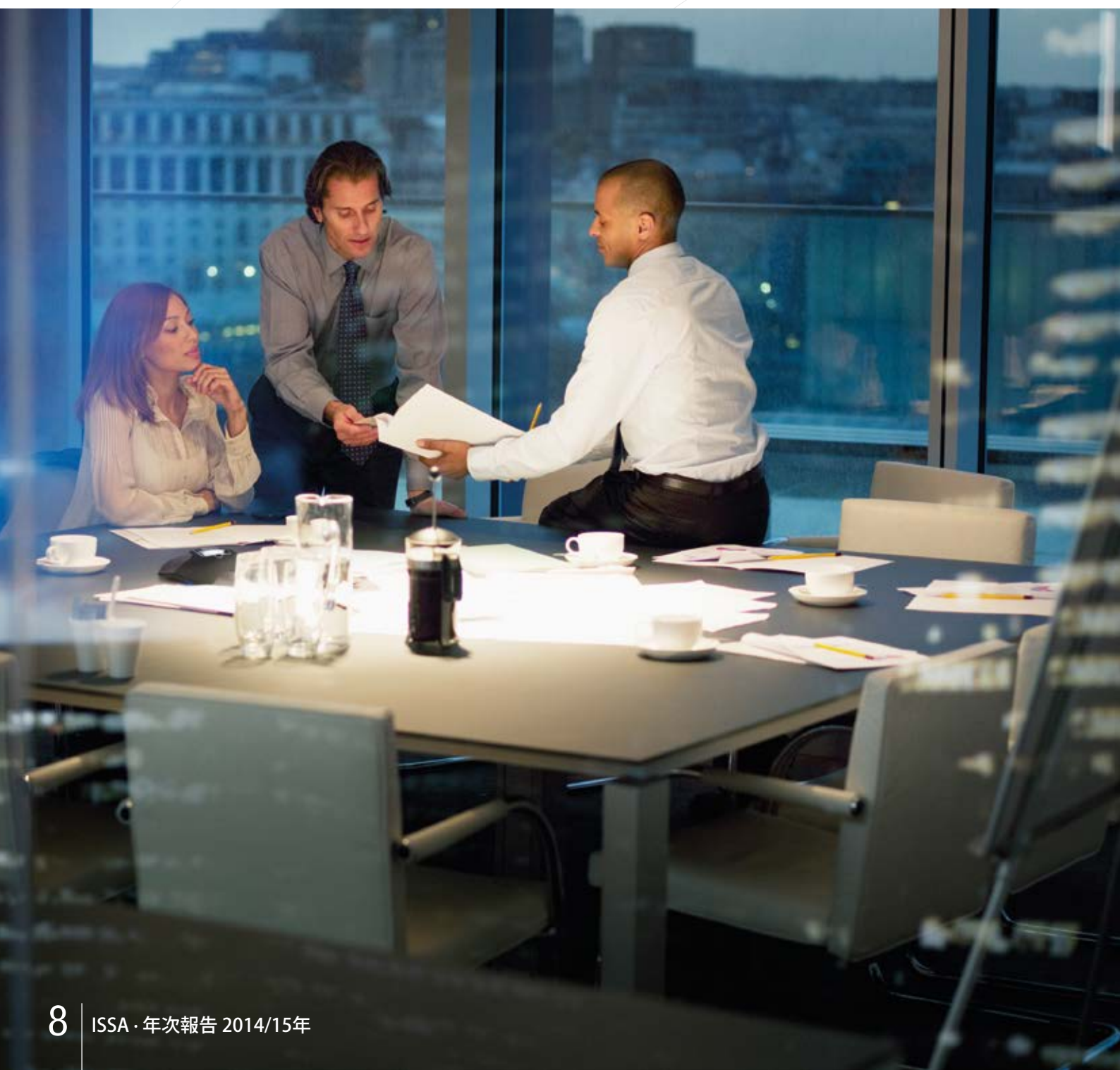




優れた運営支援センター

優れた社会保障運営の推進の旗手

ISSA加盟機関は、効率的な社会保障運営が、持続可能かつ効果的な社会保障のための主要条件であることを実証しつつある。



優れた運営支援センターの活動初年度は、加盟機関の最高経営責任者、管理職員および実務職員が、社会保障運営におけるグッドガバナンスの強化、運営効率の向上およびサービス品質の改善を目的とした一連の新しいプロダクトおよびサービスの提供に積極的に取り組んだことにより、加盟機関から熱烈的な反響がありました。

優れた運営支援センターは、加盟機関のために一連の革新的なサービスを提供しました。55カ国の80以上の加盟機関は、ISSAアカデミーワークショップの開設後6カ月内に参加し、最初に参加した加盟機関からの意見では、内容、品質および関連性に高い満足度を示しました。2014年には、世界的な研修機関グループが、ISSAガイドラインに関するハイレベルの修了証書授与を伴う研修課程をいくつかの地域で提供するためのISSAコンソーシアムに参画しました。

ISSA事務局を拠点にして行われる専門的助言は、知識、分析および専門技術を求める加盟機関からの100件以上の要請に応えました。2015年後半に試験実施されることになっているISSA認証制度は、加盟機関が国際基準の実施状況を自ら評価することを可能にするでしょう。

全地域の加盟機関が一つ以上のISSAガイドラインを、機関によっては理事会レベルで採択しているほか、多くの機関がそれら国際的な専門基準を戦略的な計画や品質管理に活用していることが、加盟機関調査の初回結果から明らかになりました。加盟機関がこのISSAの戦略的な重点取組みに多大な支持を表明したことにより、今後の優れた運営支援センターにおける優先事項を精緻化するための一層の協議を行なうことを予定しています。

優れた運営支援センターは、的確な情報源から、実用的な会員サービスおよび新分野のガイドラインの採択を通じて、今後もそのサービス範囲を拡大し、各加盟機関の業務内容、規模や地域に関係無く、独特かつ包括的な情報源を提供し続けることとしています。

ISSAガイドライン

優れた運営支援センターの中核をなすISSAガイドラインは、社会保障運営の中心分野における国際的に認められた専門基準を扱っています。現在、ガイドラインは8分野をカバーしています。

専門的助言・サポート

ISSAの専門的助言・サポートチームは、ISSAガイドライン実施に際して加盟機関から寄せられる専門的助言・サポートの提供依頼に対応しています。

専門家名簿

専門家名簿には、加盟機関の中で豊富な知識や技能を有する専門家の名簿を作成し、能力開発や加盟機関相互の連携のための情報源としています。

ISSAアカデミーワークショップ

アカデミーワークショップは、ISSAガイドラインに基づいた取組み事例の情報交換や社会保障機関が直面する課題の解決策を見出すための機会を専門家に提供しています。

ISSAアカデミーディプロマ研修

加盟機関の管理職員が組織での専門能力を養うことを目的として、合宿形式で行なわれるISSAガイドラインに基づいた高度な修了証書授与を行なう研修課程を外部研修機関と共同して提供しています。

認証プログラム

ISSA認証プログラムは、ISSAガイドラインを活用している各機関を対象に、正式な評価と認証を行う予定としています。ガイドラインの遵守の度合いを評価されたうえで、優れた運営に対する認証を受けることができます。

新たなISSAガイドライン

運営に関する新分野をカバーする、または既存のガイドラインの改訂版である追加的なガイドラインが世界社会保障フォーラムの機会に加盟機関に披露されます。

2013

11月

2014

2月

2014

3月

2014

10月

2015

6月

2016

前半


2016

11月

優れた運営支援センター

社会保障の国際的専門基準

ISSA加盟機関は、社会保障運営の中心分野に関してISSAガイドラインをうまく活用しています。



ISSAガイドラインは、優れた運営支援センターの拠り所として、社会保障の個々の運営分野で何が優れた運営に当たるかについて国際的に認められた専門基準を初めてとりまとめました。ISSAガイドラインは、精選されたケーススタディ、グッドプラクティスおよびその他の参考資料によって補完されています。

ISSAガイドラインを運営上のベンチマークとして使用することが理事会の決定によるものかどうかは別にして、加盟機関が実際にISSAガイドラインを参考にしたり、採用していることが全地域の事例から明らかになっています。メキシコ、モロッコ、フィリピンの各加盟機関の管理機関は、ISSAガイドラインの実施を表明しています。オーストラリア、アイルランド、ヨルダン、オランダ、オマーンの加盟機関では、上級管理者が特定の運営分野でのISSAガイドラインの実施や自己評価を行っています。また、加盟機関によるISSAガイドラインの実施を支援するために、新たな知識となる成果物やサービス分野の準備をしているところです。

加盟機関が外部の評価プロセスを通じてISSAガイドラインの実施状況を評価できるようにするISSAの認証プログラムが、2015年後半に試験実施されたうえ、2016年中にすべてのISSA加盟機関が利用可能になる予定です。



社会保障運営に関するISSAガイドライン

- グッドガバナンス
- 保険料徴収・納付義務遵守
- ICT
- 社会保障基金の投資
- 職場復帰と再統合
- サービスの質
- 職場のリスク予防
- 職場の健康増進

新規/改訂ガイドライン (2016年後半に刊行)

- 数理業務(ILOとの共著)
- 社会保障機関のコミュニケーション
- 適用困難な集団への適用範囲拡大
- ICT(改訂版)
- 職の定着と失業からの復職
- 職業病の予防(改訂版)

世界のISSA

115

59

南北アメリカ

北中米連絡事務所

国家被用者社会保険・社会サービス機関 (State Employees' Social Security and Social Services Institute) が活動拠点
メキシコ (メキシコシティ)

アンデス諸国連絡事務所

デラママジステリアル (Derrama Magisterial) が活動拠点
ペルー (リマ)

南米コーノスール連絡事務所

社会保障庁 (National Social Security Administration) が活動拠点
アルゼンチン (ブエノスアイレス)

ポルトガル語諸国フォーカルポイント

国立社会保障院 (National Institute of Social Security) が活動拠点
ブラジル (ブラジリア)

ヨーロッパ

ISSAヨーロッパネットワーク

社会保険機関 (Social Insurance Institution) が委員長を務める
運営委員会
ポーランド (ワルシャワ)

ユーラシア

再設置検討中

正会員

42

準会員

17

合計

59

正会員

86

準会員

29

合計

115

アフリカ

南北アメリカ

アジア太平洋

ヨーロッパ

ISSA加盟機関

2015年6月現在

327

60

93

アフリカ

北アフリカ連絡事務所

全国被用者社会保険基金 (National Social Insurance Fund for Employees) が活動拠点
アルジェリア(アルジェ)

西アフリカ連絡事務所

全国社会保険基金 (Social Insurance Institute-National Social Insurance Fund) が活動拠点
コートジボワール(アビジャン)

中央アフリカ連絡事務所

全国社会保険基金 (National Social Insurance Fund) が活動拠点
カメルーン(ヤウンデ)

南アフリカ連絡事務所

社会開発省 (Department of Social Development) が活動拠点
南アフリカ(プレトリア)

東アフリカフォーカルポイント

ケニア(ナイロビ)

アジア太平洋

アラブ諸国連絡事務所

社会保障公社 (Social Security Corporation) が活動拠点
ヨルダン(アンマン)

南アジア連絡事務所

被用者国家保険公社 (Employees' State Insurance Corporation) が活動拠点
インド(ニューデリー)

東南アジア連絡事務所

社会保障機関 (Social Security Organisation) が活動拠点
マレーシア(クアラルンプール)

東アジア連絡事務所

国民医療保険公団 (National Health Insurance Corporation) が活動拠点
大韓民国(ソウル)

中国加盟機関フォーカルポイント

人材社会保障省社会保険庁 (Social Insurance Administration of the Ministry of Human Resources and Social Security) が活動拠点
中国(北京)

正会員

81

準会員

12

合計

93

正会員

46

準会員

14

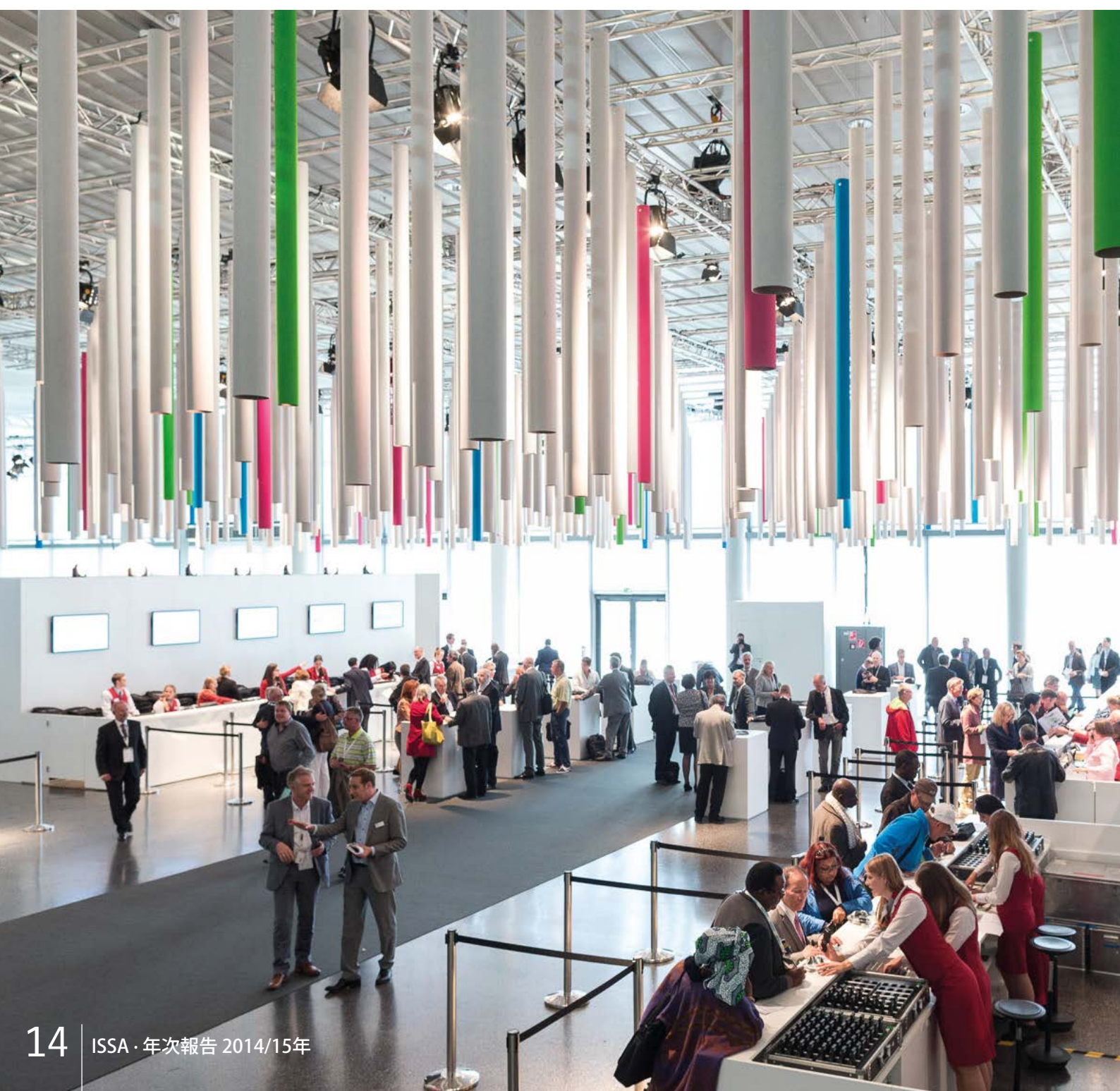
合計

60

予防

予防の世界的文化

画期的な大会となった第20回世界労働安全衛生会議は、社会保障がその役割を単なる「支払者」から「プレイヤー」へと変えるのに伴って、予防の世界的文化を構築することへの世界的取組みに対する価値を再確認しました。



ドイツのフランクフルトで2014年8月25日から27日まで開かれた第20回世界労働安全衛生会議の主な成果は、死亡労働災害および重大労働災害のない世界を目指す「ビジョン・ゼロ」および世界的な予防文化の実現への決意表明でした。

ISSAと国際労働機関(ILO)が共催し、ドイツ労災保険組合(DGUV)がホスト役となって開かれたこの会議は、55年にわたる同会議史上で最多の143カ国、約4,000人の参加者を集めて開かれました。

急速に変化する経済環境のもとで、労働力集団は多くの慣習的なものや新たな労働関連の健康課題に直面し続けており、国民経済に重大な負担をもたらす結果となっています。

事務局長がILOを代表し、同会議に出席することは初となるガイ・ライダー事務局長によれば、労働災害および職業病は毎年230万人以上の被災者が出るほど「容認し得ない」レベルに達した状況が続いています。ガイ・ライダー事務局長は、ILOの中心的な優先事項の中でもとりわけ職業安全を強調する決意を表明しました。

世界労働安全衛生会議は、安全な職場を保証する現代的で全体的な予防観の重要な要素である「人間中心の予防」というコンセプトを再確認しました。また、健康、福祉、雇用適性および復職の推進が戦略的に重要な要素であることも再確認しました。

補償、医療およびリハビリテーションの費用のほとんどが社会保障制度の負担となることにかんがみ、ISSAもまた、社会保障制度が「支払者」から「プレイヤー」へのシフトと予防戦略の重点化を求めています。

予防の主要分野に関連するISSAの国際的なガイドラインが世界労働安全衛生会議で披露されました。これらのガイドラインは、社会保障機関による世界予防文化への寄与と制度の持続可能性の確保の努力をサポートするものでした。

経済のグローバル化により、職業リスク管理のためには国際的および統合的なソリューションが必要となるため、ISSAは、とり得る諸措置の中でも、とりわけ他の国際機関と連携して世界の供給チェーンのあらゆる段階で安全と健康の水準を高める措置をとるよう努めています。

www.issa.int/prevention



知識

優れた社会保障運営のための研究開発

ISSAは社会保障運営に影響を与える優先分野の研究、分析および知識共有のサポートを続けました。



ISSAは社会保障運営に影響を与える傾向と課題の分析を進めるとともに、加盟機関にとって優先度の高い、いくつかの重要分野の研究を整理して進めてきました。

イスラエル国民保険庁の主催で2014年11月3日から5日までの間エルサレムで開かれたISSA国際研究会議において、社会保障制度の十分性と持続可能性の確保が議題にあがりました。

同会議の参加者は、社会保障の社会的および経済的な効果や、給付とその実施に関する効果的な手法について分析を行ないました。また、同会議では、根拠に基づく政策形成を通じた国民の社会保障に対する信用と信頼を獲得することの重要性を再確認しました。

社会保障の適用範囲拡大が重点目標にあるため、ISSAは移民労働者への効果的適用を確保するための行政措置に関する実践的ハンドブックを発行しました。移民労働者は多くの地域で労働力集団のかなりの割合を占めており、その扱いは社会保障の政策と制度にとって困難な課題になっています。

ISSAは、外部影響要因の推移、すなわちメガトレンドが向こう数十年間の社会保障制度にどのような影響を与えるか、およびどうすれば社会保障運営が社会に対するメガトレンドの影響を予測して対処し、緩和することができるかを分析し続けています。「社会保障とメガトレンド」シリーズのレポート第2弾が刊行されましたが、これは気候変動と自然資源の欠乏が社会保障に与える可能性のある影響を考察したものです。

その他の分野では、社会保障積立金の分析の新しい段階が完了しました。ISSA積立金モニターは、資産の配分や運用成績をはじめとする積立金管理の多様な側面を評価し分析しています。この年も、ISSA積立金モニターは、各加盟機関に対し、積立金の管理のために不可欠な情報を提供しました。

この年に刊行されたISSAの定期刊行物「国際社会保障レビュー」特別合併号は、ダイナミックな社会保障というISSAの戦略的コンセプトのレンズを通して、一国の社会保障制度が社会的および経済的目標の達成に寄与するに当たって果たす重要な役割を検討しています。



アフリカ

アフリカの優れた社会保障

ISSAのアフリカ地域社会保障フォーラムは、アフリカ大陸での社会保障の発展の明るい見通しを表明しました。



モロッコのカサブランカで2014年12月3日から5日まで開催された地域社会保障フォーラムでは、数百万人ものアフリカ人の生活に社会的および経済的な好影響をもたらした社会保障制度のデザインと運営の改善の事例検討が重点議題となりました。

同フォーラムで披露された進展と傾向に関するISSAレポート「アフリカ：社会保障改善のための戦略的アプローチ」は、アフリカ地域が社会保障の適用範囲拡大と実施において大幅な進歩を遂げたことを認めています。同レポートはまた、アフリカ地域の社会的保護の強化への政治的関与を強める方向への大きなステップに伴って、社会的保護の制度の改革、調整および効率化が加速したことを指摘しました。

ISSAのサイド・アーミドウチ副会長は、アフリカ諸国では、社会的保護が開発課題の中で注目されるとともに、社会保障機関は、革新的なアプローチと新技術の活用がより一層特徴的となっていることから、アフリカの社会保障は岐路に立っていると表現しました。副会長はまた、加盟機関は、制度の持続可能性と適用範囲拡大を長期に確保するため、絶えず効率と効果を改善する必要がある旨を指摘しました。

アフリカ地域のISSAグッドプラクティス賞

この輝かしい賞は、記録的な数のエントリーの中から公正に選ばれた次の2機関に、ISSAアフリカ地域社会保障フォーラムで表彰されました。

モーリシャス社会保障省：モーリシャス社会的保護対象者登録簿の導入

モロッコ集団退職金制度：完全に柔軟な多チャネル顧客関係管理

このほか、別の8機関が、その優れた業績を認められて特別の表彰を受けました。コンテストへの参加数は、22カ国29機関から58エントリーがありました。

www.issa.int/rssf-africa2014



優れた社会保障運営のための知識の普及と開発

ISSAウェブポータル

ISSAウェブポータルは、世界中の社会保障運営に関する包括的な情報、ニュース、データおよび分析を提供しています。個々のユーザー向けにカスタマイズされたMy ISSA欄のほか、「ISSA優れた運営支援センター」、「ISSAガイドライン」およびその他の重要な情報源への全てのアクセスをはじめとする会員限定のサービスがISSA加盟機関にのみ提供されています。



www.issa.int

「国際社会保障レビュー」



1948年に創刊された「国際社会保障レビュー」は四半期ごとに刊行され、社会保障分野における世界でも主要な刊行物です。時事問題に関する国際比較や徹底的の考察および社会保障政策や社会保障制度の比較分析研究に関する記事を世界有数の社会保障専門家が提供しています。また、ISSA加盟機関の関心の中心となる政策や運営を主題とした特別号や主題別特集号も刊行しています。

オンラインアクセス：英語の記事については1967年以降の掲載記事、フランス語、ドイツ語およびスペイン語の記事については2008-2013年の掲載記事がアクセス可能です。加盟機関はMy ISSA経由でいつでも「国際社会保障レビュー」に無料でアクセスできます。

「国際社会保障レビュー」は英語で刊行されます。なお、新しい記事に関しては、そのすべてについて、英語、アラビア語、中国語、フランス語、ドイツ語、ポルトガル語、ロシア語およびスペイン語による抜粋が利用可能です。

www.issa.int/review

「世界の社会保障制度一覧」



このシリーズでは、アジア太平洋、アフリカ、南北アメリカ、ヨーロッパ編の地域別に調査結果をまとめ、2年間にわたり6か月おきに刊行されます。各巻は各地域の社会保障制度の特徴を概説します。「世界の社会保障制度一覧」は、アメリカ社会保障庁とISSAの協働により作成されています。

英語版があります。

www.issa.int/SSPTW

「社会保障の進展と傾向」



このシリーズでは、アフリカ地域対象のレポートを皮切りに、各レポートが最も重要な最近の社会保障の進展と傾向を地域レベルと世界レベルで特定し、総合し、分析します。また、各レポートは、ISSA事務局が収集した詳細なデータと具体的な事例を使って、各地域の社会保障が直面する重要な課題を特定します。

英語版があります。なお、地域によっては他言語版もあります。

www.issa.int/DT

「社会保障とメガトレンド」



「気候変動と自然資源の欠乏」

このレポートは、気候変動と自然資源の欠乏が社会保障制度に及ぼす直接、間接の影響を考察し、それらに対する政策と運営の対応に脚光を当てています。

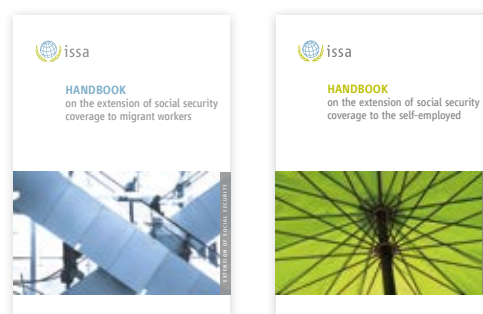
英語版があります。なお、「要旨」については、英語、アラビア語、中国語、フランス語、ドイツ語、ロシア語、スペイン語の各国語版があります。

「労働市場メガトレンドと社会保障」

このレポートは、社会保障への労働市場メガトレンドの影響を、どのようにして社会保障の運営により和らげ、それに影響を与えることができるかを考察しています。

英語版があります。

「社会保障の適用範囲拡大に関するハンドブック」



特定の人口集団を適用する際の運営上の課題が、社会保障機関にとって重大な障害となることがあります。ISSAハンドブックは、社会保障の運営および社会保障の適用範囲拡大策に携わる政策決定者、管理者および専門家のために実践的な参考資料を提供します。

「移民労働者への社会保障の適用範囲拡大のハンドブック」

英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、ロシア語の各国語版があります。

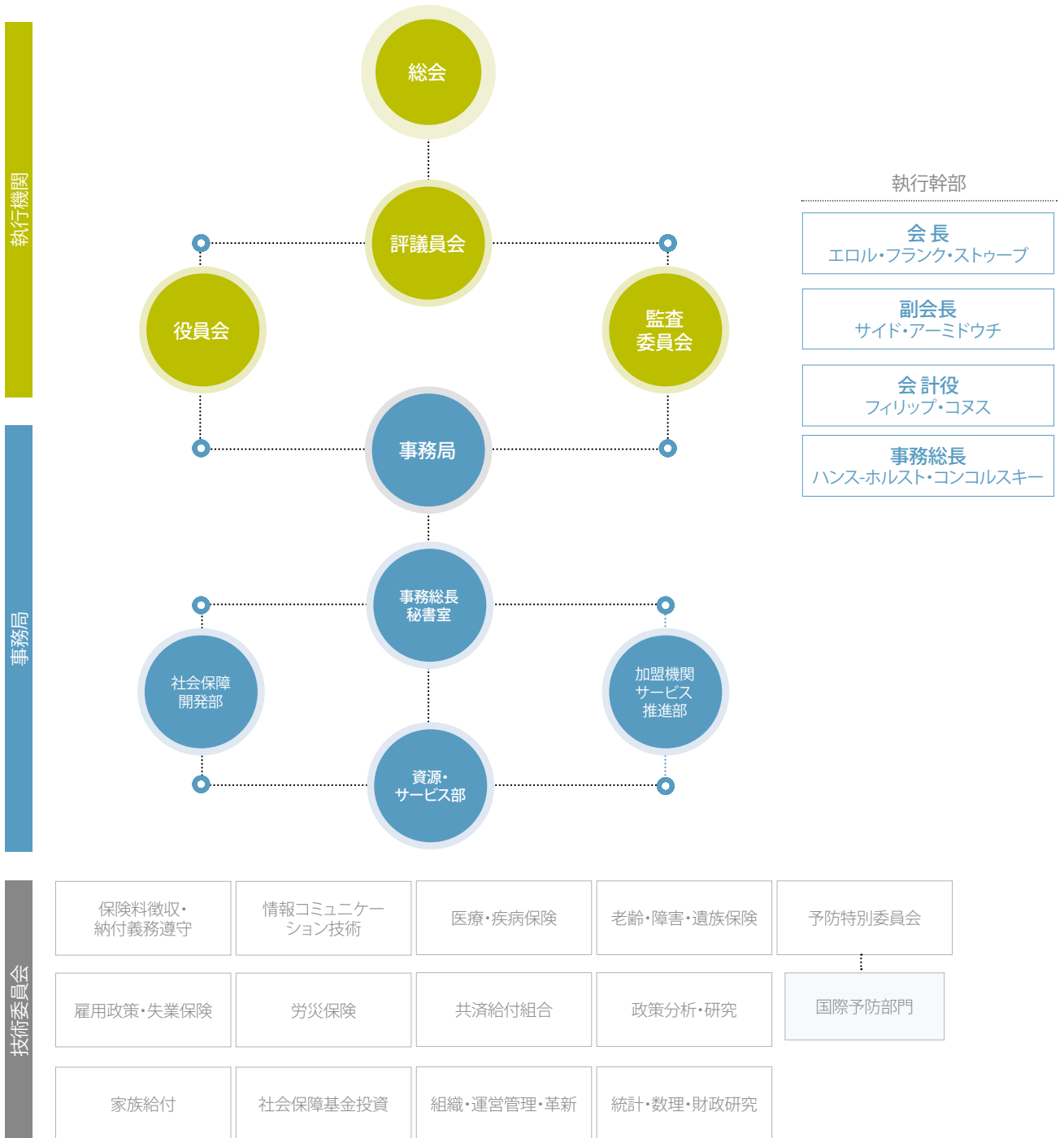
「自営業者への社会保障の適用範囲拡大のハンドブック」

英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語の各国語版があります。

www.issa.int/megatrends

www.issa.int/handbooks

ISSAの統治と組織体制





Promoting excellence in social security
Promouvoir l'excellence dans la sécurité sociale
Promoviendo la excelencia en la seguridad social
Förderung von Exzellenz in der sozialen Sicherheit
За повышение стандартов в социальном обеспечении
促进卓越的社会保障
دعم التميّز في الضمان الاجتماعي

ISSA General Secretariat

4 route des Morillons
Case postale 1
CH-1211 Geneva 22

T: +41 22 799 66 17

F: +41 22 799 85 09

E: issa@ilo.org

www.issa.int

For information on joining the ISSA:

www.issa.int/join

